

# お薬の飲み方について 専門医受診までに、2回目以降を服用する方へ

## 【基本形のお薬の組合せ】

RAL(アイセントレス) + TDF/FTC(ツルバダ)

## 《服薬方法》

	アイセントレス	ツルバダ
■アイセントレス: 1回1錠 1日2回		1回の服用量は 下表のとおり
■ツルバダ: 1回1錠 1日1回		
1回目 1回目は薬を受領したら すぐに服用!	1錠 	1錠 
2回目	1錠 	
3回目	1錠 	1錠 
4回目	1錠 	
5回目	1錠 	1錠 
6回目	1錠 	
7回目	1錠 	1錠 
8回目	1錠 	

8回目以降も  
専門医受診まで、  
服用継続する!

## 《飲み方の注意点》

※お薬を受け取られたらすぐに1回目の薬を服用してください(重要)。

曝露から出来るだけ早く(2時間以内に内服することが好ましい)服用。

※2回目以降の服用は、概ね12時間間隔で服用下さい。

※食事に関係なく服用できます。

※アイセントレスは、マグネシウム、アルミニウムを含むサプリメント、健康食品や薬(胃腸薬、制酸剤や下剤の一部)と相互作用(吸収低下)があります。アイセントレスを服用前後6時間を避けて服用して下さい。

※腎機能低下、B型肝炎の既往、妊娠の可能のある方は必ず申し出て下さい。

## 《その他の注意点》

※受診連絡を取り、専門医を必ず受診して下さい。

連絡先、連絡方法は、『熊本県針刺し切創・皮膚粘膜曝露後の抗HIV薬服用マニュアル』(熊本県ホームページからも参照可)を確認ください。

## 《服用2週間以内に発現しやすい副作用》

### ・発疹

軽度発疹は服用継続可能です。発熱を伴うあるいは悪化するようであれば、自己中断せず、各施設の医療事故担当医に御連絡下さい。

### ・消化器症状(下痢・軟便、便秘、吐き気、悪心、腹部膨満感、お腹にガスがたまる等)

下痢や吐き気がひどく、日常生活に支障がある、食事ができない、嘔吐を繰り返す場合も各施設の医療事故担当医に御連絡ください。整腸剤や下痢止め、制吐薬の使用で軽減する場合があります。

### ・頭痛(数日にわたり持続する事は少ない)

### ・疲労感・倦怠感

## 《まれに起こる可能性のある副作用》

・めまい(ふわっとするような感じ等) ・筋肉痛、脱力感 ・異常な夢 ・不眠、傾眠

2016年3月作成